2021年7月15日現在のバージョン

**アルゴデューデリジェンステンプレート**

|  |
| --- |
| **一般** |
| *この一般の項では、アルゴリズムの中心的機能について概説する。提供者が同じテンプレートで複数のアルゴリズムを取り扱いたい場合には、1～5の回答を表又はマス目にまとめることができる。* |
| Q1 | アルゴリズムの提供者 |
| A1 |  |
| Q2 | アルゴリズムの名前： |
| A2 |  |
| Q3 | 流動性タイプ（内部、外部、混合）： |
| A3 |  |
| Q4 | 対象商品（スポット、NDF）： |
| A4 |  |
| Q5 | アルゴリズムの説明[[1]](#footnote-1)： |
| A5 |  |
| Q6 | 利用者が調整できるパラメータ又はコントロールについて説明してください。 |
| A6 |  |
| Q7 | その商品が内部で構築されたのか、外部で構築されたのかを記載してください。 |
| A7 |  |
| **利益相反** |
| *いくつかの利益相反が予想される場合があるが、その内容と、それらの利益相反を管理するためにどのような対策が取られたのかを把握することが重要である。それによりアルゴリズムの利用者は、十分な情報に基づいて決定を下すことができる。*  |
| Q8 | プリンシパルの流動性がアルゴリズム利用者のオーダーと関連する場合、それはどのようにして起きますか。また、オーダーの観点から執行が公正であることを保証するためにどのような対策が取られていますか。 |
| A8 |  |
| Q9 | 貴社の別の事業部門が、アルゴリズム利用者のオーダーと同じサイドでヘッジング又は取引を行う必要がある場合、二者の間で執行をどのように割り振りますか。 |
| A9 |  |
| Q10 | 貴社が提供するアルゴリズムに関係する取引プラットフォーム又はその他の関係するサービス提供者と特定の商業的利害関係がありますか。利害関係がある場合、それらの利益相反にどう対処しますか。 |
| A10 |  |
| Q11 | マーケットリスク、カウンターパーティリスク及び決済リスクに関する貴社の役割を詳しく記載してください。 |
| A11 |  |
| Q12 | 他にアルゴリズム利用者が知っておくべきことは何かありますか。 |
| A12 |  |
| **アロケーション・ポリシー** |
| *アロケーションにはさまざまな方法がある。複数のクライアントが取引を希望する場合、又は実際に、ある顧客のオーダーを成立させるために別の顧客のオーダーを使用するという状況のもとで何が起きるかを理解することが重要である。*  |
| Q13 | 同一通貨ペア・同売買方向での取引を希望する顧客のオーダーが複数ある場合、これらのオーダー間のフィルのアロケーションはどのように行いますか。 |
| A13 |  |
| Q14 | 2件の顧客オーダーが約定時ネッティングの条件を満たす場合、このプロセスはどのように進められますか。 |
| A14 |  |
| **ルーティング・ポリシー** |
| *ルーティング・ポリシーは重要なテーマである。取引執行が行われるプラットフォームの評価、監督及び優先順位付けの方法等、いくつかの要素が存在する。また、ルーティングの決定を下す際にアルゴリズムが使用するフェアバリューミッドはどこか、リットオーダーを置く際の情報漏洩をどのようにして防ぐかの問題も取り上げられている。最後に、内製化が定義されている。「2つのアルゴリズムオーダーのネッティング」等について厳格な定義を使用する提供者もいれば、一方で別のカウンターパーティの注文を引き付けるためにスキューのかかったミッドレートを外部に見せる提供者もいる。*  |
| Q15 | 目に見えるコスト（スプレッド、インパクト）と隠れたコスト（情報漏洩）の両方を含め、ヘッジ取引の執行が行われるプラットフォームをどのように評価しますか。 |
| A15 |  |
| Q16 | オーダーのルーティングを行う際に、取引執行が行われるさまざまなプラットフォーム（外部と内部の両方）の優先順位付けをどのように行いますか。 |
| A16 |  |
| Q17 | 複数のクライアントが同じ通貨ペアでオーダーを出した場合、外部にオーダーを出す前にこれらのオーダーをまとめますか、それとも各顧客のオーダーを個々に取り扱い、複数の同じようなオーダー（約定時互いに競合する可能性がある）を出しますか。 |
| A17 |  |
| Q18 | 監督が可能な場合、取引執行が行われるプラットフォームを監督するために、どのような継続的取組みを行っていますか。およそどの程度の頻度で行っていますか。 |
| A18 |  |
| Q19 | オーダーブックが全参加者に見えるプラットフォーム（リット執行プラットフォーム）で情報漏洩の発生を防止するためのロジックがありますか。ある場合は説明してください。 |
| A19 |  |
| Q20 | アルゴリズムが使用するフェアバリューミッドは、プライシング及びリスク管理を目的とする貴社のマーケットメイキングシステムが使用するものと異なっていますか。異なる場合は具体的に説明してください。 |
| A20 |  |
| Q21 | 貴社が「内製化」をどのように理解しているか明確に記載してください。さらに例を用いて、実務上これがどのように機能しているかを説明し、貴社のアルゴリズムの顧客がこのプロセスによって恩恵を受けているか否か、どのような恩恵を受けているかを示してください。平均的にどれだけの数量が内製化されているかを示したい場合は、数量を記載しても構いません。 |
| A21 |  |
| **セグリゲーション・ポリシー** |
| *セグリゲーション・ポリシーとは、オーダー情報を機密扱いとし、シグナリングのリスクを小さくするためのポリシーである。* |
| Q22 | 貴社の内部でアルゴリズムオーダーを分別しているか、どのように分別しているかを記載してください。 |
| A22 |  |
| Q23 | 日中の「マーケットカラー」を提供する営業担当者及びトレーディング担当者は、アルゴリズムオーダーを見ることができますか。見ることができる場合、情報漏洩のリスクを最小化するためにどのような対策が取られていますか。 |
| A23 |  |
| Q24 | 貴社の自己のポジションを持つ可能性のある裁量トレーダーは、アルゴリズムオーダーを見ることができますか。見ることができる場合、情報漏洩のリスクを最小化するためにどのような対策が取られていますか。 |
| A24 |  |
| Q25 | 電子マーケットメイキングシステムは、アルゴリズムオーダーを見ることができますか。見ることができる場合、情報漏洩又は情報悪用のリスクを最小化するためにどのような対策が取られていますか。 |
| A25 |  |
| Q26 | アルゴリズムオーダーフローは、他の顧客が使用できるマーケットポジショニング又は分析ツールに含まれていますか。 |
| A26 |  |
| **安全機能** |
| *安全機能に含まれるものとしては、取引の速度が速すぎる場合や、一定の市況のもとでオーダーを自動的に停止させるファットフィンガーリミット、キルスイッチ又はプロテクション等が考えられる。*  |
| Q27 | オーダーの停止又は拒否を起動させる可能性のある内蔵安全機能について説明してください。 |
| A27 |  |
| Q28 | 顧客が使用するために貴社が提供する電子取引システムの完全性（システムの信頼性、セキュリティ、キャパシティ及び緊急時対応策を含む）を保証するために、貴社が行ってきた対策、及び今後継続する対策について説明してください。 |
| A28 |  |
| **取引コスト分析（TCA）** |
| *取引コスト分析（TCA）は、ますますサービスの重要部分になってきた。TCAがサードパーティによるものでない場合は、内部の測定基準を理解することが重要である。例えば、「リスク移転価格を3bp超えた」場合、貴社はリスク移転価格をどのように計算するだろうか。* |
| Q29 | TCA又はアナリティクスをサポートしていますか。サポートしている場合はどの提供者かを明記してください。 |
| A29 |  |
| Q30 | 貴社が自社独自のアナリティクスを提供している場合には、関係する測定基準をどのように計算するかを説明してください（ミッドプライス、リスク移転ベンチマーク等）。 |
| A30 |  |
| Q31 | 貴社が自社独自のアナリティクスを提供している場合、それぞれの利用者に提供するデータに違いがありますか。違いがある場合は詳しく説明してください。 |
| A31 |  |
| **スワップ** |
| *アルゴリズム利用者は、1日又は2日以上先の受渡日にアルゴリズム執行の全額又は一部金額をロールしなければならない場合がある。ロールがアルゴリズムの提供者のもとで執行される場合には、個々のスワップ価格が有利であるか否か、及び秘匿性を有する可能性のあるオーダー情報が開示されるか否かを理解することが重要である。例えば、スワップトレーダーは、アルゴリズム執行のサイドを知っているか、あるいはツーウェイRFQとして受け取るか。さらに、スワップトレーダーは、既にスポット約定済みのものに対してクオートしていることを知っているか、あるいは他の銀行とのコンペティションでのRFQと同じように見えるのか。* |
| Q32 | アルゴリズムオーダーからスワッププライシングの要請があった場合、STIRTデスクにどのような情報が提供されますか。 |
| A32 |  |

1. [FX execution algorithms and market functioning](https://www.bis.org/publ/mktc13.pdf)（為替市場における執行アルゴリズムと市場機能）の2.1項にある「algo archetypes（アルゴリズムのアーキタイプ）」の詳しい説明が参考になるだろう。 [↑](#footnote-ref-1)